

材料工学委員会
材料工学ロードマップのローリング分科会
第 24 期・第 1 回会議議事録

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火）10：00～12：00

会場：日本学術会議 5 階 5-C(2)

出席者（敬称略）：筑本 知子、松宮 徹、大矢根 綾子、川原田 洋、岸田 昌夫、柴田 直、陶山 容子、中野 貴由、新家 光雄

配布資料：議事次第

資料 1 分科会設置提案書・委員名簿

資料 2 参考資料（報告「材料工学ロードマップのローリング 社会インフラ、グリーン・エネルギー分野」より抜粋）

議題

1. ロードマップのローリング分科会の主旨説明

資料 2 に基づき、前委員長の松宮委員より、ロードマップのローリング分科会の主旨、これまでの経緯、前期の活動内容などについて説明が行われた。前期は 4 つの応用領域のうち、社会インフラ材料およびグリーン・エネルギー材料分野のロードマップのローリングを実施し、この分野から浮かび上がった 6 つの共通領域の課題についても抽出したこと、今期は、デバイス材料ならびに医療・バイオ材料分野のロードマップのローリングを実施することが確認された。またローリングに当たっては、SDGs¹も考慮する必要があるとの説明がなされた。

¹ SDGs：2015 年の「持続可能な開発サミット」で国連加盟国が採択した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に含まれる「持続可能な開発目標」

2. 各委員の自己紹介

各委員の自己紹介が行われた。また、須山氏の委員辞退について承認された。

3. 役員の選任

委員の互選により、以下の通り今期の役員を選任した。

- ・委員長 筑本委員
- ・副委員長 岸田委員
- ・幹事 松宮委員、大矢根委員

4. 分科会の進め方についての意見交換

分科会の進め方、分野における課題・トピックス等について意見交換が行われた（別紙1参照）。

少子高齢化社会・持続可能社会への対応、教育・人材育成、人材交流・分野融合の重要性、ガイドライン・標準化、世界の中での位置づけ、倫理的な課題、情報科学の重要性等について意見が上がった。また、重要技術の一つとして、3次元（3D）造形、ならびに3Dに情報や時間軸等の要素を追加した「3D+1D」について意見交換が行われた。

5. その他

分科会は年3回程度開催される予定であり、次回は2018年6月頃に開催予定との説明がなされた。次回委員会までに関連情報を調査・収集し、イメージ図等の資料を作成することとなった。